

シベリア鉄道とバイカル湖の旅

2018年 **ご旅行期間とご旅行代金**
7月29日(日)発~8月6日(月)着...¥499,000
 一人部屋利用追加料金 **¥49,000**(車中2泊は除く)

バイカル湖

世界最深の湖で、世界最高の透明度のバイカル湖は、約2500万年前に形成された琵琶湖の約46倍に相当する広大な面積を誇り、固有の生物が数多く生息している貴重な自然の宝庫です。



ご旅行条件

- 募集人員 / 18名様定員
- 最少催行人員 / 8名様
- お食事 / 朝食6回・昼食3回・夕食5回
- 成田空港使用料 / ¥2,610(別途必要)
- ロシア査証料・同取得手数料 / ¥9,800(別途必要)
- パスポート残存期間 / ロシア出国時6ヶ月
- 査証欄 / 見開き2ページの余白要
※事前にパスポートをお預かりいたします。
- 査証写真 / 1枚(カラー縦4.5cm×3.5cm)
- 旅行代金には、海外の空港税、出国税、航空保安税が含まれております。
- 弊社では燃油サーチャージを別途徴収いたしません。
- 千歳空港より、全行程、社員添乗員同行
- トランク往復無料託送サービス [ご自宅~空港~ご自宅]
※ビジネスクラス利用追加料金はお問い合わせください。
※成田発着:¥10,000引き
※大阪・中部・福岡発着:同一料金

ご利用予定ホテル

- ハバロフスク / インツーリスト、パルス
- シベリア鉄道 / 2名1室(2等4名1室コンパートメントを2名でご利用です)
- イルクーツク / イルクーツク、コートヤード、マリOTT
※上記ホテル又は同等クラスとなります。

※右記の時間は、すべて現地時間で表示されております。
 ※現地の都合によりスケジュールが変更される場合がございます。その場合でも極力日程に従って旅行サービスがお受けになられるよう万全の手配努力を致します。
 ※表記の「」「」「」はそれぞれ「朝食・昼食・夕食・機内食」を示します。印の食事は含まれておりません。
 ※シベリア鉄道のスケジュールは出発の60日前に決定します。毎年、事前スケジュールと大幅に変更があります。その場合、出発日やスケジュールを変更させていただきますので、ご了承ください。
 ※航空機の発着時間は変更となる場合がございます。

日次	都市名	スケジュールと見どころ / お食事と宿泊地
1	千歳 成田 ハバロフスク	スーツケース無料託送サービス ご自宅~空港 午前、千歳空港より、航空機にて、成田空港へ。 午後、成田より、S7航空にて、極東の町・ハバロフスクへ[14:35発 / 18:25着]。 着後、入国審査・税関検査ののち、専用バスにて、ホテルへ。 ハバロフスクに連泊 です。 [ハバロフスク泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
2	ハバロフスク (アムール川) ミニクルーズ	終日、 ハバロフスク市内観光 。ウスペンスキー教会、アムール川展望台、アムール川ミニクルーズ、レーニン広場、スパソ・プレオブラジェンスキーなどへご案内します。 [ハバロフスク泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
3	ハバロフスク シベリア鉄道	朝、 2泊3日の列車の旅 が始まります。世界最長の シベリア鉄道 (総距離:9,279km)に乗り、極東ロシアの雄大な景観を心ゆくまでお楽しみください。 また、ロシアらしいのどかな原風景も車窓よりご覧ください。 ハバロフスクからイルクーツクまでは6駅に停車します(各々約15分)。下車し、売店や、駅を覗いてみるのも良いでしょう。 [車中泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
4	シベリア鉄道	終日、車窓からのロシアの雄大な景色をお楽しみください。 お食事は車内の食堂車や車内販売、停車駅の売店などでお買い求めいただけます。添乗員もお手伝いいたします。 [車中泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
5	シベリア鉄道 イルクーツク	夕刻、シベリアの都・ イルクーツク 到着。 イルクーツクにゆったり3連泊 です。 [イルクーツク泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
6	イルクーツク (バイカル湖) ミニクルーズ	2日間にかけて、ゆっくりとバイカル湖と、イルクーツク市内を訪問します。 『シベリアの真珠』と称される 世界遺産 バイカル湖 の観光。 バイカル湖ミニクルーズ 、 バイカル湖沼博物館 、ロシア正教会、バイカル湖展望台など。バイカル湖はタタール語で「豊かな湖」を意味し、面積は琵琶湖の約46倍に相当します。最深部は1,700メートルに及び、透明度は世界一といわれています。7月は 野花の季節 ですので、ゆっくりと野生のお花も探します。また、キーロフ広場やスパスカヤ教会、永遠の火など、イルクーツク市内観光へもご案内します。 バイカル湖でしか食べることができない「 オムリ 」(白身魚)もお楽しみください。 [イルクーツク泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> / [イルクーツク泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
7	イルクーツク	昼、S7航空にて、帰国の途へ[12:10発 / 18:30着]。 夕刻、成田空港到着後、入国審査・税関検査ののち、ホテルバスにて、ホテルへ。 [成田泊] <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>
8	成田	午前、成田より、航空機にて、千歳へ。 千歳空港到着後、解散。 スーツケース無料託送サービス 空港~ご自宅 <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/>

シベリア鉄道

ウラジオストクからモスクワまで約1万キロを1週間かけて走り抜ける**世界最長の鉄道**。開通から1世紀以上経た現在でも、ロシア国内の幹線として、国内の産業、交通上の重要な役割を担っています。

この鉄道は日本と大きな歴史的つながりを持っています。日清戦争直前、鉄道の起工式に参加する途中、日本を訪問したニコライ2世は、「天津事件」に遭遇し、鉄道建設にとって波乱の幕開けとなりました。

明治末期から大正にかけて、多くの日本人が日本海を渡り、ウラジオストクよりさらに内部のシベリアまで訪れています。この時期、シベリア鉄道の車内では日本語が飛び交い、まるで日本国内にいるようだと言われた留学生の日記もありました。

当時の日本の時刻表には、敦賀発パリ行きのシベリア鉄道の時間が載り、切符が東京、大阪で販売されていました。この鉄道に乗車した人の中には、歌人の与謝野晶子、小説家の林芙美子、戦後では五木寛之などがいます。

今でも、車窓に映るシベリアの原野は、彼らが眺めた風景とほとんど変わらないのではないのでしょうか。